



学校だより 神橋

10月号

令和8年9月
横浜市立神橋小学校



ひにんちのうりよく 非認知能力

こうちよう ささき のぞみ
校長 佐々木 希

「(ハンガーを) こうやって回したら、このくらい大きいシャボン玉ができたよ。」

「(ストローを束ねて) 小さいシャボン玉はできたけど、すぐ割れちゃったよ。」

「(輪に) 段差があるからできないんじゃない？」

「手が段差にならないように持つところ(持ち手)があればいいんじゃない？」

これは、1年生が生活科「シャボン玉で遊ぼう」の学習で話し合っている様子です。その姿は真剣そのもの。シャボン玉の研究をしているミニ博士たちです。遊びの中で生まれた「もっと大きなシャボン玉を作りたい。」「もっといっぱいシャボン玉が出てくるようにしたい。」などの思いを大切に、自分たちで探究する活動を進めていました。体験をもとに、できたことや困っていることを伝え合い、「〇〇かもしれない。」と予想したり、友達のアドバイスを聞いて次に実践したりしていました。

教育の中で「非認知能力」が関心を集めています。数値化できない「これからの社会を生き抜くために必要な能力」のことであり、横浜市が企業・大学等と連携した調査研究によると、学力との関わりも実証されたそうです。「非認知能力」の中で特に着目されているのが、「メタ認知」「知的好奇心」「知的謙虚さ」「共感性」です。紹介した1年生の活動の様子は、まさにこの4つを育てている場面と言えるのではないのでしょうか。

10月9日は、前期の終わり、今年度の振り返り地点です。学校・家庭で、「非認知能力」にも注目してこまめの半年を振り返り、子ども一人ひとりを認め、励ましていけたらと考えます。



★一例としてご参考になさってください★

「メタ認知」…うまくいかないときは、なぜなのか考えたり、次の方法を試したりする。

「知的好奇心」…新しいことに挑戦するときにわくわくする。

「知的謙虚さ」…人の話を聞くことで、自分の考えがまとまる。

「共感性」…うれしそうな人が近くにいると自分もうれしくなる。

※ 子どもたちの様子を学校ホームページ「学校日記」で随時紹介しています。ぜひご覧ください。